

環境検討部会（第13回）議事概要

1. 日 時：令和4年3月3日（木）9：30～12：00
2. 場 所：小山市役所 会議室、栃木南部農業水利事業所 会議室、
栃木県在住者以外は Web 参加
3. 出席者：別紙のとおり
4. 議事概要：本検討部会での決定事項、検討事項等は以下の通り。

1) 生物調査について

（委員）

排水路と環境配慮施設のワンド部の違いを示すためには、連続した水位、水温、可能ならば DO を把握することが重要である。そのため、データロガーの設置を検討されたい。また、ワンド内の有機物量の変化を把握するために、当方にて、底質の強熱減量試験を実施するので、数カ月に1度程度、底質のサンプルを送付する等検討されたい。

（委員）

水位が低下する冬期に、ワンド部は多くの魚類に利用されていたが、鳥が来て食べている形跡（ペリット・糞等）がないか、今後の調査では確認すること。

（委員）

新荒川排水路の新荒川分流樋門下流部(NS-1)で夏季に多くのスジエビが確認されているが、来年度も多くのスジエビが確認されるようであれば、その要因（スジエビの餌の有無、移動等）を来年度以降も検討されたい。

（委員）

ワンド部にはふとんカゴと井桁ブロックを設置しているが、これらを利用する種の把握には CCD カメラが有効になると思うので、カメラを使用する事を検討されたい。

2) ナガエミクリのモニタリング結果等

（委員）

ナガエミクリの成長は左岸、中央、右岸にあるかで日照量の違いにより変化した他地区事例があるため、重回帰分析では生息環境要因の説明変数に加えて、再検討を行うこと。

（委員）

ナガエミクリ移植による魚類等への保全効果の検証において、今回は「ナガエミクリ

が生育する溝切部・集水桝地点」と「コンクリート地点」とで比較しているが、溝切部においてナガエミクリが「生育している地点」と「生育していない地点」での比較も行った方がよい。

(委員)

令和４年度にナガエミクリを移植する西清水川排水路の水路底板開口部に、水位と水温のデータロガーを設置することを検討されたい。